

# GO Next Driven.

## 第101期 株主通信

2023年4月1日から2024年3月31日まで

## バンドー化学株式会社

証券コード：5195

### 2023年度 通期の連結業績ハイライト

詳細はホームページに掲載されている情報をご覧ください。  
<https://www.bandogrp.com/ir/>



#### 売上収益

108,278百万円

前年  
同期比 4.5%増

#### コア営業利益

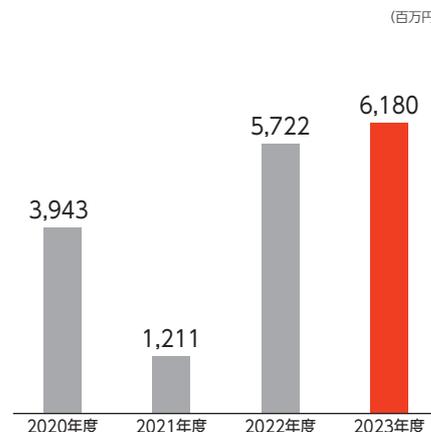
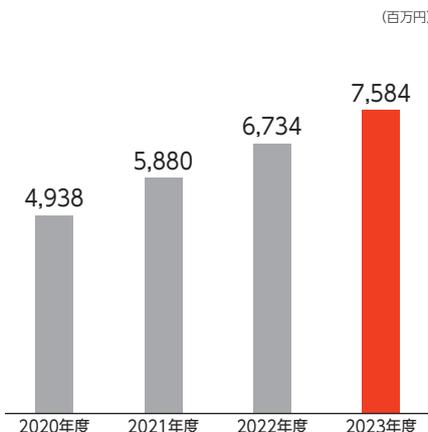
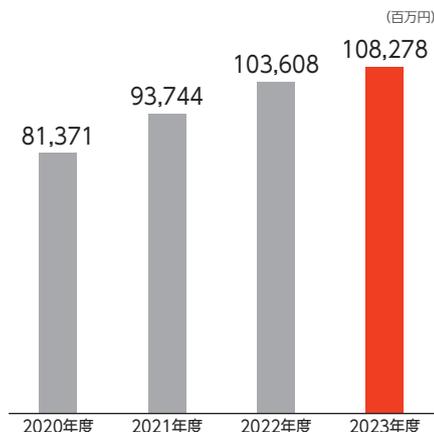
7,584百万円

前年  
同期比 12.6%増

#### 親会社の所有者に帰属する当期利益

6,180百万円

前年  
同期比 8.0%増



(注) 1. 2019年度から国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。 2. コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

### POINT

- 売上収益は、当社グループの主要な市場である自動車分野で半導体不足に伴う供給制約の緩和が継続し、各国の自動車生産台数が総じて前年度を上回る状況で推移したことなどで増収。
- 高機能エラストマー製品事業に係る減損損失を計上したものの、売上収益の増加に伴い、コア営業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益が増益。

### 2024年度 通期の連結業績見通し

#### 売上収益

110,000百万円

前年  
同期比 1.6%増

#### コア営業利益

8,200百万円

前年  
同期比 8.1%増

#### 親会社の所有者に帰属する当期利益

6,500百万円

前年  
同期比 5.2%増



代表取締役社長

植野 富夫

株主の皆様におかれましては、日頃は格別のご高配にあずかり、心より御礼申し上げます。第101期株主通信をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社グループを取り巻く外部環境は、持続可能な社会の実現に向けた世界的な取り組みが進む一方、高まる地政学的リスクや不安定な物価など、先行きが不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Creating New Value for the Future”の第1ステージの1年目として、「価値創造」、「スマートもの

づくり創造」、「未来に向けた組織能力の進化」の3つの指針を掲げ、「人と社会を支え、今と未来をつなぐBEST PARTNER」であり続けるために活動してまいりました。特に「価値創造」では、骨形成促進が期待できる吸収性骨再生用材料「e=Bone®」の販売開始、世界初となるセルロースナノファイバー複合化ゴムを適用した高負荷対応ダブルコグベルトの開発、「スマートものづくり創造」では、スマートものづくりを実現するためのデジタル人材の育成などを進めてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度は、売上収益は1,082億7千8百万円(前年同期比4.5%増)、コア営業利益は75億8千4百万円(前年同期比12.6%増)、高機能エラストマー製品事業に係る減損損失を計上したことにより、営業利益は77億7千2百万円(前年同期比5.9%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益は61億8千万円(前年同期比8.0%増)となりました。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、電動化のさらなる進展が見込まれており、持続的成長を図るためには事業構造改革が不可欠な状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Creating New Value for the Future”の3つの指針に沿って、経営目標の達成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

2023  
4月

■低騒音性に優れた物流搬送用ベルト「ミスターポーターズ®」の販売開始

5月

■中長期経営計画“Creating New Value for the Future”を発表

■株主還元方針の変更に関するお知らせを発表

6月

■食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2023」に出展

7月

■「製品・技術情報サイト」を公開

8月

9月

10月

11月

■「自己株式取得に係る事項」の決定

12月

■抜去動作検知システム「抜去アラート®」を販売開始

2024  
1月

2月

■世界初※となるセルロースナノファイバー複合化ゴムを適用した高負荷対応ダブルコグベルトの販売開始を発表

3月

※セルロースナノファイバーを用いた伝動ベルトとして世界初(当社調べ)

## 自動車部品事業

売上収益	53,282百万円	前年同期比	8.3%増
セグメント利益	4,111百万円	前年同期比	25.0%増

- 国内では、自動車生産台数が回復したものの、当社製品採用車種の減少により補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品(オートテンショナなど)の販売が減少。
- 海外では、中国は、自動車生産台数が前年度を上回る状況で推移したことで補機駆動用伝動ベルトなどの販売が増加し、欧米においても補修市場向け製品の販売が増加。アジア地域においても、四輪・二輪車メーカーの生産が総じて回復傾向にあり、補機駆動用伝動ベルト、補機駆動用伝動システム製品およびスクーター用変速ベルトなどの販売が増加。

## 高機能エラストマー製品事業

売上収益	13,769百万円	前年同期比	6.9%減
セグメント損失	151百万円	前年同期はセグメント利益	359百万円

- 機能フィルム製品は、工業用フィルムの販売が減少。
- 精密機能部品は、当社製品採用機種数の減少により高機能ローラおよびブレードなどの販売が減少。

## 産業資材事業

売上収益	36,672百万円	前年同期比	3.7%増
セグメント利益	3,492百万円	前年同期比	8.5%増

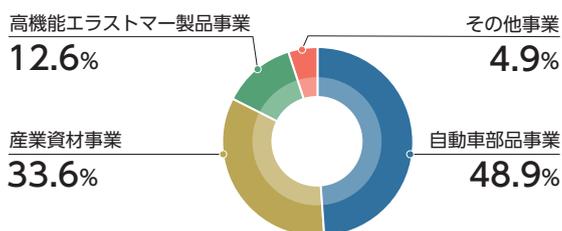
- 伝動ベルトは、国内では、民間設備投資の減少により産業機械用伝動ベルトの販売が減少。海外では、欧米において産業機械用伝動ベルトの販売が減少し、中国においては農業機械用伝動ベルトの販売が減少。
- 運搬ベルトは、国内においてコンベヤベルトおよび樹脂コンベヤベルト(サンライン®ベルト)の販売が増加。

## その他事業

売上収益	5,352百万円	前年同期比	1.6%増
セグメント利益	73百万円	前年同期比	23.3%増

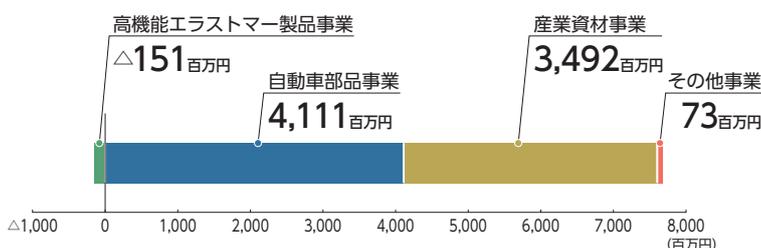
- ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを展開しており、増収増益。

当連結会計年度のセグメント別売上収益構成



※上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益または損失は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

当連結会計年度のセグメント利益



2023年 5月

### 低騒音性に優れた物流搬送用ベルト「ミスターポーターズ®」を販売開始

物流現場で用いられる搬送用ベルトは、スピードが求められるため搬送速度が速く、大きな走行騒音が発生し、作業環境を悪化させてしまうという問題があります。この問題を解決するため、従来品と比べ走行騒音を低減させた物流搬送用ベルトを開発し、販売を開始しました。



2023年 6月

### 「FOOMA JAPAN 2023」に出展

東京ビッグサイトで開催された世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2023」に出展し、低収縮性に優れた「ミスターキーパー®」をはじめ、非付着性ベルト、耐薬品性・耐湿熱性ベルトなど特長ある食品搬送用ベルトを出展しました。



連結財政状態計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2023.3.31)	当連結会計年度 (2024.3.31)
資産	流動資産	60,470
	非流動資産	58,501
資産合計	118,971	125,622
負債	流動負債	32,169
	非流動負債	8,789
負債合計	40,958	40,111
資本	親会社の所有者に 帰属する持分	77,656
	非支配持分	356
資本合計	78,013	85,511
負債および資本合計	118,971	125,622

連結損益計算書 (要旨)

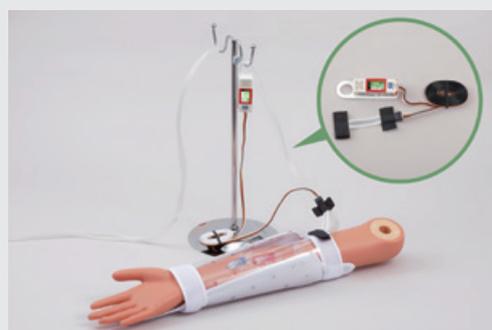
(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2022.4.1 から 2023.3.31まで)	当連結会計年度 (2023.4.1 から 2024.3.31まで)
売上収益	103,608	108,278
コア営業利益	6,734	7,584
営業利益	8,259	7,772
税引前当期利益	8,542	8,676
親会社の所有者に 帰属する当期利益	5,722	6,180

2023年 12月

抜去動作検知システム  
「抜去アラート®」を販売開始

人工透析の透析回路に取り付け、患者の無意識の抜去行動や意図しない引き抜きを素早く検知して警報音と光でお知らせする抜去動作検知システム「抜去アラート®」を開発し、販売を開始しました。



2024年 3月

セルロースナノファイバー複合化ゴムを適用した  
高負荷対応ダブルコグベルトの販売開始を発表

鋼鉄の5分の1の軽さで5倍以上の強度を有する植物由来の新素材であるセルロースナノファイバーを用いることで従来品と比べ伝動能力、耐久性に優れた高負荷対応ダブルコグベルトを開発し、2024年4月から販売を開始することを発表しました。



# バンドーグループのサステナビリティの取り組み

## サステナビリティ基本方針

バンドーグループは、持続可能な社会の実現が、当社グループが持続的に存続できる前提であると認識し、「調和と誠実の精神をもって、社会のニーズに沿った新たな付加価値とより高い品質を日々創造、提供し、お客様をはじめとする社会の信頼に応える」という経営理念のもと、社会の一員として、持続可能な社会の実現を常に意識して事業活動を行うことにより、社会的責任を果たしてまいります。

## サステナビリティ活動

バンドーグループは、社会の持続的な発展に貢献することを目標に、ステークホルダーの皆様との共生を図るとともに、経営理念に沿った価値観や行動原則を企業風土に根付かせていくべく、サステナビリティ活動テーマへの取り組みに注力し、社会から信頼される企業グループであり続けることを目指します。

### 2023年度サステナビリティ活動 TOPICS

#### 2023年

4月 ● 「バンドーグループ人権方針」を策定

5月 ● TCFD 提言への賛同表明および情報開示を実施

● EcoVadis社のサステナビリティ評価で「シルバー」を獲得



7月 ● ESG総合型指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定

8月 ● 「食べる機能の測定会」を開催

● 「サステナビリティレポート2023」を発行



10月 ● 足利工場「栃木労働局長表彰」奨励賞受賞



12月 ● 中国(天津)子会社に「太陽光発電システム」を導入

#### 2024年

1月 ● 「令和6年能登半島地震」に対する義援金寄付を決定

● スポーツ庁「スポーツエールカンパニー2024」に認定



2月 ● スペイン子会社に「太陽光発電システム」を導入

### 2023年度サステナビリティ活動

### PICK UP

#### サステナビリティ活動テーマ:コンプライアンス・人権

#### 「バンドーグループ人権方針」を策定

国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」をはじめとする国際規範に従い、「バンドーグループ人権方針」を策定しました。本方針は、人権に関する国際規範を支持し尊重するとともに、人権に関して守るべきポリシーを定めたものです。

#### ■ バンドーグループ人権方針

<https://www.bandogrp.com/sustainability/human-rights/policy.html>

#### サステナビリティ活動テーマ:製品・サービス

#### 「食べる機能の測定会」を開催

新規事業の創出を図るべく、伸縮性ひずみセンサ「C-STRETCH®」を活用した医療機器・ヘルスケア機器の開発に取り組んでおり、この取り組みの一環として、嚥下機能をモニタリングできるヘルスケア機器「B4S™」や開発中のヘルスケア機器「飲力チェッカー®」を使用し、健康維持およびオーラルケアの意識づけを目的として、定年退職された当社元従業員とご家族を対象に、測定会を開催しました。



#### サステナビリティ活動テーマ:環境

#### 「太陽光発電システム」の導入

2050年までにバンドーグループのCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル実現に向けて、クリーンエネルギーの活用などを推進しています。この取り組みの一環として、中国子会社であるBando Belt (Tianjin) Co., Ltd.およびスペイン子会社であるBando Iberica, S.A.に太陽光発電システムを導入しました。



Bando Belt (Tianjin) Co., Ltd.(中国・天津)に設置した太陽光発電システム

## 株式の状況

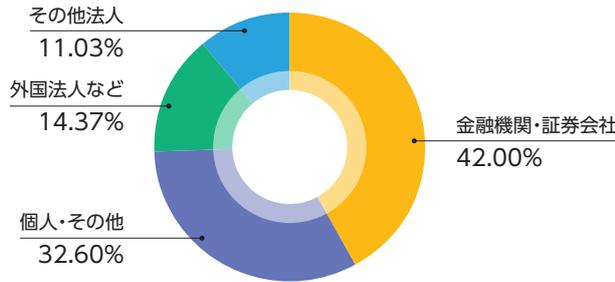
発行可能株式総数	187,000,000株
発行済株式の総数	44,213,536株 (自己株式977,441株を含む。)
株主数	10,545名

## 大株主

大株主名	当社への出資の状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
バンドー共栄会	4,659	10.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,004	9.26
株式会社三井住友銀行	2,183	5.05
明治安田生命保険相互会社	2,000	4.63
株式会社みずほ銀行	1,800	4.16
株式会社三菱UFJ銀行	1,575	3.64
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,401	3.24
日本生命保険相互会社	1,174	2.72
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,100	2.54
東京海上日動火災保険株式会社	919	2.13

(注)1. 当社は、自己株式を977,441株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 出資比率は、自己株式を控除して算出しております。  
3. 上記の出資比率につきましては、小数点第3位を四捨五入して表示しております。

## 株主構成



## 会社概要

社名	バンドー化学株式会社 Bando Chemical Industries, Ltd.
創業	1906年(明治39年)4月14日
設立	1937年(昭和12年)1月7日
本社事業所	神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
ホームページアドレス	<a href="https://www.bandogrp.com">https://www.bandogrp.com</a>

## 役員

取締役	(2024年6月25日現在)	
取締役会長	吉井満隆	
代表取締役社長	植野富夫(社長執行役員)	
取締役	染田厚(専務執行役員)	
取締役	岡田勉(専務執行役員)	
取締役	畑克彦(常務執行役員)	
取締役(監査等委員)	中村恭祐(常勤)	
社外取締役(監査等委員)	米田小百合	
社外取締役(監査等委員)	富田健司	
社外取締役(監査等委員)	久川秀仁	

## 執行役員

常務執行役員	永瀬貴行
常務執行役員	松尾聡
常務執行役員	八木尚史
執行役員	本田裕治
執行役員	野口忠彦
執行役員	三木基史
執行役員	橘博之
執行役員	吉田良太
執行役員	林一志

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL(通話料無料) 0120-094-777
公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="https://www.bandogrp.com">https://www.bandogrp.com</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および神戸新聞に掲載して行う。
上場取引所	東京証券取引所(プライム市場)

## 〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 個人投資家の皆様を対象としたIRメール配信サービスを行っています。

配信登録をいただいた皆様へ、最新のニュースリリース等、当社IRに関する情報をお知らせしています。メールアドレスをお持ちの方であれば、どなたでも無料で登録いただけますので、ぜひご利用ください。

登録先URL:[https://www.bandogrp.com/ir/news\\_service.html](https://www.bandogrp.com/ir/news_service.html)

右のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただいてもアクセス可能です。

※配信は当社の判断に基づいて行います。 ※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。  
※株式会社マジカルポケットが提供するメール配信サービスを通じて配信しています。

